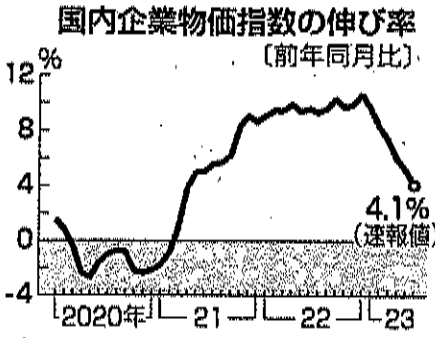


6月企業物価4.1%上昇

伸び率6カ月連続縮小

日銀が12日発表した6月の国内企業物価指数(速報値)、2020年平均11100)は119.0となり、前年同月比4.1%上昇しました。プラスは28カ月連続。ただ、伸び率は6カ月連続で縮小し、21年4月以



来、2年2カ月ぶりの水準となりました。政府による電気・ガス料金の負担軽減策が上昇幅の縮小につながりました。

企業物価指数は、企業間で取引されるモノの価格を示します。調査対象515品目のうち、上昇品目数は430と、前月(437)に比べ小幅に減少しました。日銀は、価格上昇幅が緩やかになっていることと輸入物価が落ち着いていることを合わせて先行きを注視していく方針です。

6月は「電力・都市ガス・水道」の上昇率が5.3%と前月(12.8%)から

縮小しました。「飲食料品」では、原材料や包装資材費などのコスト上昇分を転嫁する動きが続いているもの

の、上昇率は7.4%と前月(8.0%)からやや落ち着きが見られました。

円ベースで見た6月の輸入物価指数は11.3%低下し、3カ月連続でマイナスとなりました。原油価格の下落が主因で、契約通貨ベースでも14.3%低下しました。